

贈られた人の**笑顔**を想像して育てると、
チューリップも**笑顔**で応えてくれる。

◎チューリップまめ知識◎

日本一の出荷量を誇る
とやまの**チューリップ球根**

富山県のチューリップの歴史は、大正7年（1918年）、砺波地方で、球根栽培が行われたことから始まります。富山県はチューリップの栽培に適した「肥沃な土地と良質な水と歴史」があり、生産量の増加とともに海外輸出までされるようになりました。現在も、日本一の球根出荷量を誇っています。

毎年、GWには国内最大級のとなみチューリップフェアが開催され、700品種300万本の色鮮やかなチューリップが咲き揃い、全国から訪れた多くの観光客で賑わいます。

チューリップは愛の花
花言葉あれこれ

チューリップの花言葉は「博愛、思いやり」です。恋愛にまつわる伝説が多いチューリップは、色によってさまざまな愛の言葉がこめられています。

赤 愛の告白

白 愛の芽生え・誠実な愛

黄 名聲

紫 永遠の愛

白 新しい愛・純粋



生産者からのメッセージ

葉や花の美しさを保てるように1本1本大切に育てています。

さまざまな色や形、長さのチューリップを1つにミックスできるのは、産地直送ならではの魅力です。

栽培の難しい品種もより美しく。

変わり咲き品種は、非常に人気が高いのですが、その栽培には、温度管理や土づくりが大切です。砺波切花研究会では、球根栽培農家としての豊富な栽培経験に裏打ちされた技術により、切花栽培を可能にしています。

また、12月～3月の寒い時期のチューリップは色鮮やかな花が長持ちします。

砺波のチューリップの特徴とは？

色々な品種を栽培できるのは、砺波が国内で初めてチューリップ球根の栽培に成功したここ砺波だからこそ。

また、集荷と販売を行う富山県花卉球根農業協同組合、栽培方法や品種改良などの研究を行う富山県農業技術センター園芸研究所など、切花を生産する環境が砺波に整っていることも理由の一つに挙げられます。

チューリップだけで花束を作れることが最大の魅力。

チューリップ切花を専門に出荷しているのは、「砺波切花研究会」です。

生産量は多くありませんが、「八重咲」や「フリンジ咲」など珍しい品種を50品種以上栽培しています。

